

# 立命館人間科学研究

## 第28号

---

### 目 次

#### ■研究論文

ACT Workshop for Parents of Children with Developmental Disabilities

TANI Shinji, KAWAI Etuko and KITAMURA Kotomi ( 1 )

発話障がいを伴う重度身体障がい者の Skype 利用

—選択肢のもてる社会を目指して—

天島 大輔・村田 桂一・嶋田 拓郎・井上 恵梨子 (13)

全国「精神病」者集団の結成前後

—大阪・名古屋・京都・東京の患者会の歴史—

桐原 尚之・長谷川 唯 (27)

ニーズ教育（特別支援教育）の“限界”とインクルーシブ教育の“曖昧”

—障害児教育政策の現状と課題—

有松 玲 (41)

東日本大震災における大学生の被災地・被災者支援行動

桜井 政成 (55)

大阪における「地域に残された人びと」の発見

—大阪住吉地区における「老人問題」の問題化の歴史を事例にして—

矢野 亮 (67)

障害者自立支援法における相談支援事業の仕組みにかんする考察

—これからの相談支援事業の方向性を探る—

長谷川 唯・桐原 尚之 (85)

#### ■研究ノート

文化的記号と文脈が織りなす心理

—東日本大震災由来の風評克服のために—

木戸 彩恵・サトウタツヤ (115)

親の期待に対する反応様式の発達的变化

—大学生の回想データから—

春日 秀朗・宇都宮 博・サトウタツヤ (127)

#### 執筆者紹介

(137)

#### 『立命館人間科学研究』について

(139)

---